



フロアトップ® #8500

コンクリート床用 長期耐久性 耐摩耗性

フロアトップ#8500は、エポキシ樹脂の特長である耐薬品性・耐摩耗性・耐衝撃性・密着性に優れ、ローラー塗装により容易に長期耐久性が得られます。通行の激しい床面の保護、防塵化・カラー化に最適な二液溶剤型のコンクリート床用塗料です。

エポキシ床
の定番

特長

- 1. 光沢のある仕上がり**
鮮やかなつやがあり、空間を美しく彩ります。
- 2. 耐久性に優れる**
二液型エポキシ塗料で、耐摩耗性に優れ、フォークリフトの往来の多い工場・倉庫床に適しています。
- 3. 手軽に塗装できる**
高耐久でありながら、ローラーだけで手軽に塗装できます。
- 4. 抗菌工法も可能です**
エポキシ抗菌剤(別売)を添加することにより、優れた抗菌性を発揮します。

用途

通行の激しい各種工場や通路・倉庫、ホコリを嫌う場所、耐薬品性・耐溶剤性の必要な床等

荷姿・塗り面積・標準色

- [荷 姿]** フロアトップ #8500
- ・ 16 kgセット：主剤 12 kg / 石油缶、硬化剤 4 kg / 角缶
 - ・ 4 kgセット (小缶・受注生産)：主剤 3 kg / 4L 丸缶、硬化剤 1 kg / 角缶

エポキシ用抗菌剤
450g / 丸缶



塗装色は#60スカイブルー(黄色は指定色) 施工例

[塗り面積]	コーティング工法	面積
	コーティング工法	40 ~ 45 m ² (16kg セット)
	コーティング防滑工法	20 ~ 25 m ² (16kg セット)

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します



16kgセット

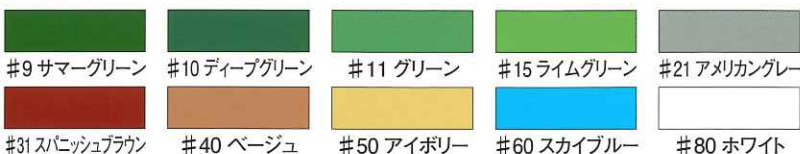


4kgセット

建築用床塗料 JIS K 5970 規格品	
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

消防法：
主 剤 / 第四類第二石油類・
危険等級Ⅲ・火気厳禁
硬化剤 / 第四類第二石油類・
危険等級Ⅲ・火気厳禁

[標準色] 10色(調色も承ります)



※日塗工色見本には無いため色見本を掲載します。
※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。
標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。

施工仕様例

① コーティング工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング工法 (ESS-I) 
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	2~24	
上塗り①	フロアトップ#8500	合成シンナーNo.6	10	0.20	16~48	
上塗り②	フロアトップ#8500	合成シンナーNo.6	10	0.15	—	

② コーティング防滑工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング防滑工法 (ESN-I) 
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	2~24	
中塗り	フロアトップ#8500	合成シンナーNo.6	10	0.20	直後	
骨材散布	珪砂6号	—	—	0.15~0.30	16~48	
上塗り①	フロアトップ#8500	合成シンナーNo.6	10	0.30	16~48	
上塗り②	フロアトップ#8500	合成シンナーNo.6	10	0.20	—	

●抗菌工法は、フロアトップ#8500の主剤12kgにエポキシ用抗菌剤450gを混合後、硬化剤4kgを加え、電動攪拌機を用いて充分攪拌混合した後、塗装してください。
注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

可使時間と硬化時間

気温	10℃	20℃	30℃
可使時間	5時間	4時間	2時間
硬化時間	48時間	24時間	12時間

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、充分注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- 下地が濡れている場合には、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様願います。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 二液性塗料の計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に攪拌し、均一にした後にはかりを用いて計量、混合してください。
- 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- 取扱い時には皮膚・粘膜・眼等に入らぬように、適切な保護具を着用ください。
- #8500は#8500速乾と混合しないでください。

3. 塗装(施工)後の注意

- 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 塗装具の洗浄には合成シンナー No.6をご使用ください。
- 養生時間 歩行開放=24時間以上 重量物開放=48時間以上(気温23℃・湿度50%)

4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。
(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
- コンクリート面をドライバー等で引っかいても傷がつきにくく水が浸透しにくい強化コンクリートの場合やさらに油污れが付着している面では、下地処理の方法や下塗り材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
- 吸い込みの激しいコンクリート面は、当社にお問い合わせください。
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)

5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

■ 本社	〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL (03)3969-3111	FAX (03)3968-7300
■ 加須受注センター	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL (0480)65-1154	FAX (0480)65-6909
■ 大阪支店	〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22	TEL (072)872-3111	FAX (072)872-1222
■ 仙台営業所	〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL (022)249-7371	FAX (022)249-7372
■ 新潟営業所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)	TEL (025)244-8011	FAX (025)244-8012
■ 横浜営業所	〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-43	TEL (045)943-8911	FAX (045)943-8912
■ 名古屋営業所	〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F)	TEL (052)914-3900	FAX (052)916-0892
■ 広島営業所	〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル)	TEL (082)845-2202	FAX (082)845-2203
■ 福岡営業所	〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL (092)503-5200	FAX (092)503-5308
■ 加須工場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL (0480)65-1159	FAX (0480)65-7146

<http://www.atomix.co.jp>

検索 フロアトップ#8500

